

競技規則の変更について (2018.11.1・2019.1.1の変更箇所) 2019.4.1

※下線部が変更追加箇所

- 1.2 体重階級 (BODYWEIGHT CATEGORIES) (規定参照) (2018.11.1 変更)
- 1.2.1 男子の高校・大学・ジュニア・シニア・マスターズは次の 10 階級とする。  
(1) 55kg 級 (2) 61kg 級 (3) 67kg 級 (4) 73kg 級 (5) 81kg 級 (6) 89kg 級  
(7) 96kg 級 (8) 102kg 級 (9) 109kg 級 (10) +109kg 級 (2018年11月1日変更)
- 1.2.2 女子の高校・大学・ジュニア・シニア・マスターズは次の 10 階級とする。  
(1) 45kg 級 (2) 49kg 級 (3) 55kg 級 (4) 59kg 級 (5) 64kg 級 (6) 71kg 級  
(7) 76kg 級 (8) 81kg 級 (9) 87kg 級 (10) +87kg 級 (2018年11月1日変更)  
なお国民体育大会では特別区分の階級を実施することができる。また全国高等学校選  
手権大会における競技階級の順は、実施要項により定める。
- 1.2.3 男子のユース及び中学生は、特別な規則が適用される。ユースオリンピック競技大会を  
除き次の 10 階級とする。  
(1) 49kg 級 (2) 55kg 級 (3) 61kg 級 (4) 67kg 級 (5) 73kg 級 (6) 81kg 級  
(7) 89kg 級 (8) 96kg 級 (9) 102kg 級 (10) +102kg 級 (2018年11月1日変更)
- 1.2.4 女子のユース及び中学生は、特別な規則が適用されるユースオリンピック競技大会を除  
き次の 10 階級とする。  
(1) 40kg 級 (2) 45kg 級 (3) 49kg 級 (4) 55kg 級 (5) 59kg 級 (6) 64kg 級  
(7) 71kg 級 (8) 76kg 級 (9) 81kg 級 (10) +81kg 級 (2018年11月1日変更)
- 1.2.5 オリンピック競技大会における階級は次の通りとする：
- 男子  
(1) 61kg 級 (2) 67kg 級 (3) 73kg 級 (4) 81kg 級 (5) 96kg 級 (6) 109kg 級  
(7) +109kg 級
- 女子  
(1) 49kg 級 (2) 55kg 級 (3) 59kg 級 (4) 64kg 級 (5) 76kg 級 (6) 87kg 級  
(7) +87kg 級 (2018年11月1日追加)
- 1.2.6 ユースオリンピック競技大会における階級は追って IOC により定められる。  
(2018年11月1日変更)
- 1.2.7 競技会参加資格は、それぞれの競技会実施要項の定めによる。(項目番号変更)
- IWF イベントにおいて各 MF は男子 12 名 女子 12 名 又は男女それぞれそのイベントで開催さ  
れる階級数プラス 2 名のうち少ない方の人数をエントリーできるが、出場は最大で男子 10  
名、女子 10 名 又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数のいずれか少ない方の人  
数に限る。1 階級最大 2 名までの選手が出場できる。  
IWF 世界選手権大会 (シニア、ジュニア、ユース) においては男子 20 名女子 20 名をエン  
トリーできるが、出場できるは最大で男子 10 名女子 10 名である。ただし各 MF は実際に参  
加する競技者とチーム役員の数をエントリーの時点で申告しておかなければならない。  
(2018年11月1日変更)

例外：

  - ・ オリンピック競技大会
  - ・ ユースオリンピック競技大会
  - ・ オリンピック競技大会以外の総合競技大会

反則動作について (2019. 1. 1 変更)

2. 3. 2 第二のパート：ジャーク

競技者はクリーンの後、ジャークを始める前に膝を完全に伸ばし静止すること。

2. 5. 1. 10 未完了の状態からバーベルを降ろすこと。

2. 5. 1. 11 シューズでバーベルに触れること。 (追加)

チャレンジカードについて (2019. 1. 1 追加)

3. 3. 5. 4

レフリーの判定/ジュリーの決定に対して異議申し立てをするための「チャレンジカード」が発行される。各競技者に与えられるチャレンジカードは1枚である。

(2019年1月1日追加)

ビデオ・プレイバック・テクノロジー (VPT) について (2019. 1. 1 追加)

3. 3. 7 ビデオ・プレイバック・テクノロジー (VPT) (VIDEO PLAYBACK TECHNOLOGY (VPT))  
(規定参照)

3. 3. 7. 1

VPT は異議申し立てがあった場合又はジュリーの意見が一致しなかった場合に、レフリーの判定/ジュリーの決定を見直すためのテクノロジーである。

(2019年1月1日追加)

3. 3. 7. 2

シニア、ジュニア、ユース世界選手権大会及びオリンピック競技大会、ユースオリンピック競技大会においてはVPTを使用しなければならない。

(2019年1月1日追加)

公式書類について (2018. 11. 1 変更)

3. 4. 2 エントリーフォーム

3. 4. 2. 2 予備エントリーでは最大で男子 12名、女子 12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできる。

IWF世界選手権大会 (シニア、ジュニア、ユース) においては男子20名女子20名をエントリーできるが、各MFは実際に参加する競技者とチーム役員の数をエントリーの時時点で申告しておかなければならない。

3. 4. 3 ヴェリフィケーションフォーム (2018. 11. 1 変更)

3. 4. 2. 3 ファイナルエントリーフォームには以下の欄を設けること：

- ・ 記名 サイン と日付

ファイナルエントリーでは最大で男子 12名、女子 12名又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数プラス2名のうち少ない方の人数をエントリーできる。これは出場できる最大競技者数にそれぞれ2名のリザーブを加えた人数である。ファイナルエントリーフォームではリザーブの競技者を指定しなければならない。

IWF世界選手権大会 (シニア、ジュニア、ユース) においては予備エントリーされた競技者のみファイナルエントリーフォームに搭載することができる。

3. 4. 3. 2

異なる年齢区分の競技会を同時に開催している場合を除き、ヴェリフィケーションフォームに残すことのできる競技者数は最大で男子 10名、女子 10名 (それぞれフルチーム) 又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数のいずれか少ない方の人数、かつ1階級2名までである。

## 競技者の服装について (2019. 1. 1 変更)

### 4.7 その他の服装

- 4.7.3 コスチュームの下にスパッツを1枚のみ着用しても構わない。ただしスパッツはコスチュームの下肢部分より長くなってはならない。スパッツは以下の基準に即すこと。

## 5 競技会について (2018. 11. 1 変更)

### 5.1 IWF イベント (IWF EVENTS) (規定参照)

- 5.1. IWF イベントとは、IWF カレンダーポリシーに則り「IWF イベント」として IWF カレンダーに登録された国際競技会を指す。IWF イベントには2つのタイプがある：
- a) オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベント
  - b) オリンピック競技大会参加枠獲得非対象イベント
- オリンピック競技大会参加枠獲得対象イベントには3つのレベルがある：
- a) ゴールドレベルイベント
  - b) シルバーレベルイベント
  - c) ブロンズレベルイベント (2018年11月1日変更)

### 5.2 IWF 世界選手権大会における条件 (CONDITIONS FOR IWF WORLD CHAMPIONSHIPS) (規定参照)

- 5.2.1 各階級においてスナッチ、クリーンアンドジャーク、トータルのそれぞれ3位までに入賞した競技者に対し、金、銀、銅のメダルが授与される。

(2018年11月1日 旧5.2.5より移動)

#### 5.2.2 ユース、ジュニア、シニア IWF 世界選手権大会 (2018年11月1日追加)

- 5.2.2.1 ユースの IWF 世界選手権大会は、夏季ユースオリンピック競技大会の年を除き毎年開催される。(2018年11月1日変更)

- 5.2.2.2 ジュニアの IWF 世界選手権大会は毎年開催される。(2018年11月1日変更)

- 5.2.2.3 シニアの IWF 世界選手権大会は夏季オリンピック競技大会の年を除き 10 階級で毎年開催される。夏季オリンピック競技大会の年においては男女とも非オリンピック階級の3階級を最低限含めた上で開催することができる。(2018年11月1日変更)

- 5.2.2.4 IWF 世界選手権大会においては、IWF によって参加資格が確認された競技者しか出場することはできない。(2018年11月1日変更)

#### 5.2.5 (2018年11月1日 新5.2.1へ移動)

- 5.6 の世界大学選手権が、5.2.3 FISU 世界大学選手権大会となり項目移動 (2018年11月1日)

#### 5.2.3 FISU 世界大学選手権大会 (2018年11月1日変更)

旧 5.6.1~5.6.7 は 5.2.3.1~5.2.3.7 に 項目番号変更 (2018年11月1日)

### 5.3 オリンピック競技大会及びユースオリンピック競技大会における条件 (CONDITIONS FOR OLYMPIC GAMES AND YOUTH OLYMPIC GAMES)

旧 5.3 → 5.4 オリンピック競技大会、ユースオリンピック競技大会及びユニバーシアード以外の総合競技大会における条件 (CONDITIONS FOR MULTISPORT GAMES OTHER THAN OLYMPICS, YOUTH OLYMPIC GAMES AND UNIVERSIADE) (2018年11月1日変更)

- 5.3.1 オリンピック競技大会及びユースオリンピック競技大会に関しては、それぞれの「オリンピック競技大会参加枠獲得要項」に則り、NOC から選手をエントリーする。

(2018年11月1日 旧5.3.3より移動)

5.3.2 オリンピック競技大会 (2018年11月1日追加)

旧 5.3.1→5.3.2.1、旧 5.3.2→5.3.2.2、旧 5.3.4→5.3.2.3、旧 5.3.5→5.3.2.4 項目番号変更

5.3.3 ユースオリンピック競技大会 (YOG) (2018年11月1日変更)

5.3.3.1 可能な限り 5.3.2 項に記載された事項は適用される。(2018年11月1日変更)

5.4 ユースオリンピック大会は項目変更 し 2.3.3 (2018.11.1 変更)

旧 5.4.1～5.4.2 は 5.3.3.1～5.3.3.2 に項目番号変更

旧 5.5→ 5.4 オリンピック競技大会、ユースオリンピック競技大会及びユニバーシアード以外の総合競技大会における条件 (CONDITIONS FOR MULTISPORT GAMES OTHER THAN OLYMPICS, YOUTH OLYMPIC GAMES AND UNIVERSIADE) (2018年11月1日変更)

旧 5.5.1～5.5.7 は 5.4.1～5.4.7 に項目番号変更 (2018年11月1日変更)

旧 5.6 は 5.2.3 に移動

旧 5.7→ 5.5 ユニバーシアード競技大会 (UNIVERSIADE) (2018年11月1日変更)

旧 5.7.1→ 5.5.1 (2018年11月1日変更)

6.2 ファイナルエントリーの確認 (VERIFICATION OF FINAL ENTRIES)

6.2.5 (2018年11月1日変更)

ユースとジュニアの競技会が同時開催されていない限り、VFE が終了する時点で、用紙に残せる競技者数は最大で男子 10名、女子 10名 又は男女それぞれそのイベントで開催される階級数のいずれか少ない方の人数、一つの階級に最大2名までである。それ以外の競技者は削除されていなければならない。

7.4 世界選手権大会とオリンピック競技大会におけるテクニカルオフィシャル (TECHNICAL OFFICIALS AT WORLD CHAMPIONSHIPS AND OLYMPIC GAMES)

7.4.2 TO 選考/指名のプロセス (2018年11月1日追加)

7.4.2.1 (2018年11月1日変更 旧 7.4.2 が分解され、間に新 7.4.2.2 が追加される)

IWF からの要請に基づき、IWF に加盟の MF は世界選手権大会において任務に当たる TOs を推薦することができる。

7.4.2.2 MF がノミネートできるのは自国の TO のみである。(2018年11月1日追加)

7.4.2.3 IWF 技術委員会/医事委員会は、推薦された TO リストの中から IWF 会長及び技術/医事委員会委員長と協議の上、最終的に任務に当たる者を選考する。

(2018年11月1日変更 旧 7.4.2 を分解したもの)

7.4.2.4 選手権大会の正確なプログラムに基づき、IWF は最低 36 名の ITO を指名する。

(2018年11月1日変更 旧 7.4.2 を分解したもの)

7.4.2.5 ノミネートした MF は、その TOs が指名されたか指名されなかったかの通知を受ける。(2018年11月1日変更 旧 7.4.2 を分解したもの)

7.4.2.6 必要性が生じた際は、IWF は絶対的な自由裁量により、MF からノミネートされなかった TOs を指名することがある。指名された TOs と所属の連盟はその旨の通知を受ける。(2018年11月1日変更 旧 7.4.2 を分解したもの)

7.5 ジュリー (2018.11.1 変更)

7.5.3 IWF イベントにおいてジュリーは3人もしくは5人のメンバーで編成され、そのうちの1名をプレジデントとする。シニア、ジュニア、ユース世界選手権大会及びオリンピック競技大会、ユースオリンピック競技大会においてジュリーは2グループともに5人で構成され、それぞれのうち1名をプレジデントとする。2名以内のリザーブを指名できる。  
(2018年11月1日変更)

7.5.9 ジュリーはアペール対象のためのジュリーではない。:すなわち 3.3.7 で定められた方法での異議申し立てを除き、ジュリーにアペールすることはできない。  
(2019年1月1日変更)

7.5.10 ジュリーの過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリーはレフリーの判定及び/またはジュリー自身の決定を VPT により見直すことができる。  
(2019年1月1日追加)

旧 7.5.10~7.5.19 は 7.5.11~7.5.20 に項目番号変更 (2019年1月1日変更)

7.8 テクニカルコントローラ

7.8.11 (ジュリーが異議申し立てを受け付けた場合) チャレンジカードを受け付ける、保持する及び返却する。 (2019年1月1日追加)

旧 7.8.11~7.8.12 は 7.8.12~7.8.13 に項目番号変更

7.11.6 ・ アクレディテーションを回収し競技者用パス/チャレンジカードを配付すること  
(2019年1月1日変更)

8 記録 (RECORDS)

8.7 世界記録、大陸記録、及び地域記録は、ブロンズレベルイベントを除き IWF カレンダーに記載された IWF イベントのみにおいて公認する。 (2018年11月1日変更)

8.11 世界新記録及びオリンピック新記録はその競技者がエントリーされた階級及び年齢区分の記録のみを対象として更新できる。 (2018年11月1日追加)

旧 8.11~13 は 8.12~14 に項目番号変更 (2018年11月1日変更)

1.2 に関する規定 一 階級 (2018年11月1日変更)

階級	許容範囲	階級	許容範囲
	男子		女子
55kg	≤55.00	45kg	≤45.00
61kg	55.01-61.00	49kg	45.01-49.00
67kg	61.01-67.00	55kg	49.01-55.00
73kg	67.01-73.00	59kg	55.01-59.00
81kg	73.01-81.00	64kg	59.01-64.00
89kg	81.01-89.00	71kg	64.01-71.00
96kg	89.01-96.00	76kg	71.01-76.00
102kg	96.01-102.00	81kg	76.01-81.00
109kg	102.01-109.00	87kg	81.01-87.00
+109kg	>109.00	+87kg	>87.00

ユース男子		ユース女子	
49kg	≤49.00	40kg	≤40.00
55kg	49.01-55.00	45kg	40.01-45.00
61kg	55.01-61.00	49kg	45.01-49.00
67kg	61.01-67.00	55kg	49.01-55.00
73kg	67.01-73.00	59kg	55.01-59.00
81kg	73.01-81.00	64kg	59.01-64.00
89kg	81.01-89.00	71kg	64.01-71.00
96kg	89.01-96.00	76kg	71.01-76.00
102kg	96.01-102.00	81kg	76.01-81.00
+102kg	>102.00	+81kg	>81.00

3.3.5 に関する規定 — ゼッケン/競技者用パス/ウォームアップ・パス/チャレンジカード  
(2019年1月1日追加)

1 ゼッケン

- ・ ロゴ (IWF、ホスト MF、NOC、スポンサー等) は、広告に関するルールを遵守した上で認める (旧 4.8 項→4.9 項参照) (2019年1月1日変更)

2 競技者用パス

- ・ ロゴ (IWF、ホスト MF、NOC、スポンサー等) は、広告に関するルールを遵守した上で認める (旧 4.8 項→4.9 項参照) (2019年1月1日変更)

3 ウォームアップ・パス

- ・ ロゴ (IWF、ホスト MF、NOC、スポンサー等) は、広告に関するルールを遵守した上で認める (旧 4.8 項→4.9 項参照) (2019年1月1日変更)

4 チャレンジカード (2019年1月1日追加)

- ・ 最低 20cm×9cm サイズの厚紙
- ・ 「チャレンジカード」と記載
- ・ 抽選番号を記載する、又は
- ・ 性別、階級、グループを遠くからでも見えるよう大きな文字で示し、色と文字を競技者用パスに一致させる
- ・ ロゴ (IWF、ホスト MF、NOC、スポンサー等) は、広告に関するルールを遵守した上で認める (4.9 項参照)

3.3.7 に関する規定 — ビデオ・プレイバック・テクノロジー (VPT) (本項全て 2019年1月1日追加)

1 VPT の要件:

- 最低 4 つのカメラ: 1 台はステージ正面、両対角線上に計 2 台、後方からプラットフォームの高さに 1 台
- VPT は独自のシグナルを用いるが、観客及び視聴者がリプレイを見ることができるようビデオボード及び TV に接続しなければならない。競技者又はチームが異議申し立てをした場合はビデオボード及び/又は TV に「チャレンジ」と示さなければならない。
- VPT は後々ビデオアーカイブとして用いることができるよう多用途であること (審判講習会、科学分析、セミナー/教育等)。

2 VPT 及びそのモニターはジュリー席あるいはその近辺に設置しなければならない。

3 VPT オペレーションチームは異議申し立ての際に素早くかつ効率よく VPT を操作できるよ

う訓練を受けておかなければならない。

- 4 手続きは（競技を止めることにより）ジュリーが始めても構わないし（テクニカルコントローラにチャレンジカードを提出することにより）競技者／チームが始めても構わないが、次の試技に対して計時が始まるあるいはコールされた競技者がステージに上がる、いずれか遅い方までに開始しなければならない。

テクニカルコントローラはチャレンジカードを受け取ったならば直ちに競技を止める。

- 5 ジュリーのみがプレイバックのプロセスを統括する。ジュリーはプロセスに入る前にチャレンジの有効性を確認しなければならない。

- 6 ジュリーの過半数の意見がレフリーの判定と異なる場合、ジュリー自身の決断により VPT のプロセスを開始することができる。

- 7 リプレイの回数に制限はないが、ジュリーは可能な限り早く決定を下さなければならない。

- 8 レフリーの判定を変えるためにはジュリー全員の合意が必要となる。

- 9 競技者あるいはチームによる異議申し立て

- 9.1 競技者／チームは自身の試技に関する判定に対してしか申し立てをすることができない。

- 9.2 各競技者には検量時にチャレンジカードが1枚配布される。

- 9.3 競技者／チームがレフリーの判定あるいはジュリーの決定に対し異議申し立てをしたい場合は、最も近くにいるテクニカルコントローラにチャレンジカードを渡すことにより申し立てを申請する。

- 9.4 異議申し立てを受け付けたテクニカルコントローラは申し立てをジュリーに伝えるため競技を止めなければならない。

- 9.5 異議申し立ては、一人の競技者につき一回のみ許される。ただしジュリーが申し立てを正しいと判断した場合は競技者／チームは申し立ての権利を保持することができる。

## 5.1 に関する規定 — IWF EVENT

### 1～6 削除

#### a) 参加枠獲得対象イベント (2018年11月1日追加)

- ・ IWF カレンダーに含めるための申請は、本フォームを通じてイベント（世界選手権大会は除く）の最低6ヶ月前までには提出されなければならないが、IWF の承認を得れば前述に該当しない。
- ・ すべてのイベントおよび競技要項は、IWF 加盟の国内連盟/組織委員会によって、イベントの4ヶ月前までに確認のため、IWF へ送付しなければならない。
- ・ 要項が承認された場合、イベントの3ヵ月前までには IWF ウェブサイトにて書類を公開しなければならない。シニアとジュニアのイベントに限る。
- ・ 予備エントリーおよび最終エントリーは、締め切り後7日以内に提出すること。
- ・ 結果は、イベント終了後7日以内にテンプレートのフォーマットで提出すること。

#### b) 参加枠獲得非対象イベント

IWF、大陸連盟 (CF)、地域連盟 (RF)、IWF 加盟の国内連盟 (MF)、クラブ (国の MF に承認されている) 主催。IWF からのアドバイスがない限り、企画、運営および組織は、IWF TCRR と、特に競技規則 5.1、5.2、5.5、5.6、5.7 と、5.1 に関する規定と 5.2 に関する規定に従う；

IWF ユース世界選手権大会、選定された IWF イベントにおいては IWF TIS を適用する；

- ・ ユース大陸選手権大会においては IWF 認可の IT システムを適用する。
- ・ 総合競技大会においては IWF 認可の IT システムを適用する。
- ・ その他のイベントにおいて IWF TCRR 対応の IT システムを適用する。

詳細については IWF カレンダーポリシーを参照のこと。

5.2 に関する規定 — 世界選手権大会

5 世界選手権大会の会期は、特別な定めがない限り以下の通りとする：

- ・ ユース世界選手権大会：6日間以上の競技日程（2018年11月1日変更）

6.4 に関する規定 — 検量

1 検量は以下の器具・備品等のある部屋で実施する：

- ・ チャレンジカード (Challenge Cards)（2019年1月1日追加）

1.8 競技者がエントリーした階級の許容範囲内に計量できたら、競技者用のパス及びチーム関係者が用いるためのウォーミングアップ場へのパス、チャレンジカードを渡す。

（2019年1月1日変更）